

# 久米小だより

第3号

がっこう  
学校ホームページ

<https://school.iga.ed.jp/kume-e/>



2024. 6. 24

## 本に親しむ時間を子どもと一緒に・・・

平成30年度「国語に関する世論調査」(全国16歳以上の男女・対象3,590人)では、次のような結果が発表されています。

1か月に大体何冊くらい本を読むか<問10>(P.36\*)

— 47.3%が1か月に1冊も本を「読まない」と回答—



〔全体・過去の調査との比較〕

1か月に大体何冊くらい本を読むかを尋ねた。

「読まない」が47.3%、「1, 2冊」が37.6%、「3, 4冊」が8.6%、「5, 6冊」と「7冊以上」がそれぞれ3.2%となっており、1冊以上読むと答えた人の割合が52.6%である。

過去の調査結果(平成20, 25年度)と比較すると、余り変化は見られない。

(文化庁ホームページより引用)

大人の「47.3%」が1ヶ月に1冊も本を「読まない」という結果となっています。また、「人が最も読書すべき時期はいつ頃だと考えるか」という問いに対しては、「40.7%」が「10歳代」と回答しています。ほんの少しの時間からスタートして、大切な10歳代に“大人も一緒に”「読書できる力」を育てていく必要があるかもしれません。

### 「読書ができる」と「こんないいことがあるかも・・・」

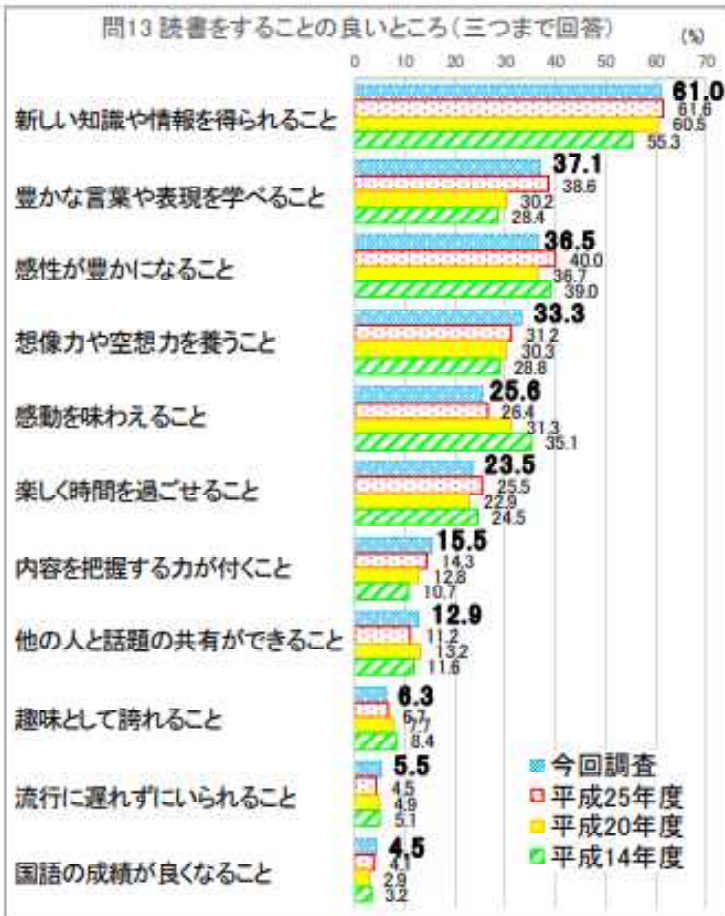
まずは、私たち大人が少し考えるとよいのかもしれない。一般的には、次のようなことがよく言われます。

- イメージする力がつく
- 使える言葉が増え、豊かな人間関係が作れる
- 必要な知識や考える力がつく
- 仕事や学習に必要なスキルが身につく
- 集中力がつく
- (我が家では・・・)

他に「どんないいこと」があるのでしょか。

読書をすることの良いところは何かと思うか〈問 13〉(P.54\*)

—「新しい知識や情報を得られること」と6割強が回答—



〔全体・過去の調査との比較〕

読書をすることの良いところは何かを尋ねた(選択肢の中から三つまで回答)。

「新しい知識や情報を得られること」が61.0%で最も高く、以下、「豊かな言葉や表現を学べること」(37.1%)、「感性が豊かになること」(36.5%)、「想像力や空想力を養うこと」(33.3%)、「感動を味わえること」(25.6%)、「楽しく時間を過ごせること」(23.5%)、「内容を把握する力が付くこと」(15.5%)、「他の人と話題の共有ができること」(12.9%)、「趣味として誇れること」(6.3%)、「流行に遅れずにいられること」(5.5%)、「国語の成績が良くなること」(4.5%)となっている。

過去の調査結果(平成14, 20, 25年度)と比較すると、「想像力や空想力を養うこと」「内容を把握する力が付くこと」は増加傾向にある。「感性が豊かになること」は平成25年度調査から今回調査に掛けて4ポイント減少している。

ぶん ちやう (文化庁ホームページより)

こんなことに取り組んでいます・・・



← 5年生 風鈴作り  
紙粘土でオリジナル風鈴を作っています。



↑ 3年生 食育  
伊賀の「菜種油」が給食で使われていることを知りました。



→ 5・6年生「スリッパ そろえ隊」  
休み時間での「行動目標」に全校生で取り組んでいます。  
揃えられた数をシールで「見える化」「グラフ化」しています。